



# 2022 会 告 No.8

◇通知・案内事項

○化学工学会第53回秋季大会 参加募集…………… 本号7ページ

◇本部・支部大会行事の開催予定

	(2022)	(2023)
◇年会		
◇秋季大会	9/14～16(信州大学)	3/15～17(東京農工大学)
◇支部大会	11/9～10(新潟大会)	9/11～13(福岡大学)
◇学生発表会		

◇本部・各支部・部会行事 (「ゴシック」は新規掲載分および修正分)

行事プログラムの掲載は1回限りです。既載行事はカレンダー会告ページ(または各支部ホームページ)をご参照下さい。

開催年月日	行 事	申込締切	会 告 ページ
<b>2022年8月 August</b>			
2	セミナー「DX(AI・IoT)最前線の取り組み紹介」(大阪府/オンライン)		7号11
5	フロー・マイクロ合成研究会 第36回公開講演会-講演&展示-(大阪府/オンライン)		6号18
5	第32回中高教諭とケミカルエンジニア交流のための見学講演会(オンライン)		7号9
8～31	第46回 基礎化学工学演習講座(第3クール:1日単位)(オンライン)		6号17
19	先端技術を支える単位操作シリーズ 「粉体技術の最前線-粉砕・分級・シミュレーション-講演&見学会」(大阪府)	8月3日(水)	6号18
20	化学工学技士試験(東京都, 大阪府)		6号10
24	「ガス分離膜・浸透気化膜分離プロセス及び膜反応器の設計」講座(8/24, 26, 31, 9/2) (オンライン)	8月17日(水)	4号14
25	「知的生産性を高めるチームづくり」講座(8/25, 9/1)(オンライン)	8月17日(水)	4号15
25～26	令和4年度 粒子・流体プロセス部会 ミキシング技術分科会 夏期セミナー(兵庫県)	8月16日(火)	7号10
26～27	第48回経営ゼミナール「明日の日本を私が創る ～VUCA時代を牽引せよ!～」 東海セッション(愛知県)		6号12
30	基礎化学工学講座(第2回)[反応工学編](8/30, 9/6, 13, 20)(オンライン)	8月10日(水)	7号12
31～9/2	第25回化学工学基礎講習会(初習者対象)(山口県)		本号14
<b>2022年9月 September</b>			
5	「プロセス設計」講座 塔・槽, 熱交換器の設計 編(9/5, 6, 12, 13)(オンライン)	8月30日(火) 9:00	7号9
5	超臨界流体部会 第21回 サマースクール「エネルギー・環境問題に挑戦する超臨界流体・ CO <sub>2</sub> 分離貯留技術」(東京都/オンライン)	8月22日(月)	本号12
5～27	第26回基礎化学工学講習会(9/5・6・12・13・26・27)(東京都)		本号13
7	第3回リスクに基づくプロセス安全入門(オンライン)	8月24日(水)	7号11
14～16	化学工学会第53回秋季大会(長野県)		本号7
20	第30回東北支部若手の会セミナー -ものづくりに向けた現象理解と観察技術-(岩手県)	9月2日(金)	本号12
20～21	第27回東北ジョイント夏季セミナー(岩手県)	9月2日(金)	本号12
25	Chemical-Energy-Car Competition 2022 Autumn(オンライン)	8月26日(金)	7号9
27～28	粉体技術者養成講座 第1回【乾燥】(静岡県)		7号10
30～10/1	第48回経営ゼミナール「明日の日本を私が創る ～VUCA時代を牽引せよ!～」習志野セッ ション(千葉県)		6号12
<b>2022年10月 October</b>			
1	化学工学技士(基礎)試験(北海道, 宮城県, 群馬県, 東京都, 神奈川県, 静岡県, 愛知県, 京都府, 大阪府, 岡山県, 広島県, 山口県, 徳島県, 福岡県, 宮崎県, 鹿児島県の予定)	8月31日(水) 13:00	6号11

4	第27回実践化学工学講座(10/4, 14, 19, 28, 11/8, 18, 22, 12/1, 13, 22)(オンライン)	9月9日(金)	7号12
6~7	「レイアウトとプロットプランの考え方」講座(東京都)	9月28日(水)	本号9
11~12	入門触媒科学セミナー(大阪府)	9月15日(木)	7号13
14	「プロセス設計」講座 プロセス基本制御とPFD作成 編(10/14, 18)(オンライン)	10月7日(金) 9:00	本号9
15	上席化学工学技士 面接試験【三次】(オンライン)		6号9
24	第18回分離プロセス基礎講座 固液分離工学 -基礎と応用- (大阪府)		7号10
27~28	粉体技術者養成講座 第2回【混合・混練】(千葉県)		7号10
28~29	第48回経営ゼミナール「明日の日本を私が創る ~VUCA時代を牽引せよ!~」 関西セッション(兵庫県)		6号12
<b>2022年11月 November</b>			
1~2	粉体技術者養成講座 第3回【粒子加工】(静岡県)		7号10
9~10	化学工学会新潟大会(新潟県)		本号13
9~11	「プラント計装制御-1」講座(東京都)	11月1日(火)	本号10
16~18	「P&IDの作り方」講座(東京都)	11月8日(火)	本号10
24~25	ナノ材料の表面分析講習(大阪府)	11月2日(水)	7号13
24~25	「モデリング技術の基礎と実践」講座(東京都)	11月16日(水)	本号11
25~26	第48回経営ゼミナール「明日の日本を私が創る ~VUCA時代を牽引せよ!~」 幕張セッション(千葉県)		6号12
<b>2022年12月 December</b>			
13~14	粉体技術者養成講座 第4回【集じん】(愛知県)		7号10
<b>2023年1月 January</b>			
12~13	粉体技術者養成講座 第5回【粉碎】(広島県)		7号10
<b>2023年2月 February</b>			
2~3	粉体技術者養成講座 第6回【ろ過】(大阪府)		7号10

◇国際交流行事

会 期	行 事 名	申込締切	会告ページ
8月中旬で調整中	19th Asian Pacific Confederation of Chemical Engineering (APCChE) Congress (Kuala Lumpur, Malaysia)		
10月25~28日	「第6回革新的エネルギー材料・プロセス国際会議(IMPRES2022)」 The 6th International Symposium on Innovative Materials and Processes in Energy Systems(IMPRES2022)		4号16
12月2~4日	33th International Symposium on Chemical Engineering (ISChE) (第33回化学工学に関する国際シンポジウム (ISChE2022))	8月31日(水)	本号14

◇共催・協賛行事(本カレンダーのみのご案内です。詳細は各問合せ先へ直接ご照会下さい。「ゴシック」は新規掲載分)

行 事(場 所)	開催期日	問合せ先	電話番号 (FAX) E-mail, URL
2022年度化学人材育成プログラム(東京都ほか)	4月1日～ 2023年3月31日 (金～金)	一般社団法人日本 化学工業協会	03-3297-2578 (03-3297-2606) jinzai_ikusei@jcia-net.or.jp <a href="https://www.nikkakyo.org/Jinzai_ikuseiProg/index.html">https://www.nikkakyo.org/Jinzai_ikuseiProg/index.html</a>
2022年度 技術英語能力検定(技術英検)(東京都ほか)	4月1日～ 2023年3月31日 (金～金)	公益社団法人日本 技術英語協会	03-3434-2350 info@jstc.jp <a href="https://jstc.jp/exam/examination/">https://jstc.jp/exam/examination/</a>
2022年度計算力学技術者(CAE技術者)資格認定事業 (全国/上級試験はオンライン)	6月22日～ 12月9日(水～金)	一般社団法人日本 機械学会	03-4335-7616 caenintei@jsme.or.jp <a href="https://www.jsme.or.jp/cee/">https://www.jsme.or.jp/cee/</a>
令和4年度クリーン・コール・デー記念行事(国際会議等) (東京都内を中心に全国の石炭博物館等)	8月1日～9月16日 (月～金)	クリーン・コール・ デー実行委員会 (鉄鋼連盟, セメ ント協会, 製紙連 合会, 電源開発, 石炭フロンティア 機構)	03-6402-6100 (03-6402-6110) jkamada@jcoal.or.jp <a href="http://www.jcoal.or.jp/">http://www.jcoal.or.jp/</a>
第39回エアロゾル科学・技術研究討論会(神奈川県)	8月3～5日(水～金)	日本エアロゾル学 会	(03-5227-8632) jaast-touron@conf.bunken.co.jp <a href="https://www.jaast.jp/new/home-j.html">https://www.jaast.jp/new/home-j.html</a>
ICYRAM2022(福岡県/オンライン)	8月3～6日(水～土)	日本MRS	092-802-2755 icyram2022@gmail.com <a href="https://icyram2022.wixsite.com/official-site">https://icyram2022.wixsite.com/official-site</a>
第31回日本エネルギー学会大会(東京都)	8月4～5日(木～金)	一般社団法人日本 エネルギー学会	03-3834-6456 (03-3834-6458) taikai3lsanka@jie.or.jp <a href="https://www.jie.or.jp/publics/index/833/">https://www.jie.or.jp/publics/index/833/</a>
第50回可視化情報シンポジウム(東京都)	8月8～10日 (月～水)	一般社団法人 可視 化情報学会	03-5993-5020 (03-5993-5026) symp2022@vsj.jp <a href="https://www.vsj.jp/symp2022/">https://www.vsj.jp/symp2022/</a>
表面分析実践講座2022 「実践! 最新走査電子顕微鏡実習 実際の作業を通して身につける最新技術」(東京都)	8月10日(水)	日本表面真空学会	03-3812-0266 (03-3812-2897) office@jvss.jp <a href="https://www.jvss.jp/jpn/activities/06/detail.php?cid=00014">https://www.jvss.jp/jpn/activities/06/detail.php?cid=00014</a>
日本混相流学会混相流シンポジウム2022(東京都)	8月19～21日 (金～日)	日本混相流学会	06-6466-1588 (06-6463-2522) office@jsmf.gr.jp <a href="http://www.jsmf.gr.jp/mfsymp2022/">http://www.jsmf.gr.jp/mfsymp2022/</a>
第11回環境放射能除染研究発表会(福島県/オンライン)	8月24～25日 (水～木)	一般社団法人環境 放射能とその除 染・中間貯蔵およ び環境再生のため の学会(通称:環 境放射能除染学 会)	029-886-9227 (029-886-9228) maruyama@khjosen.org <a href="http://khjosen.org/event/conference/11th_Con/kenkyu11.html">http://khjosen.org/event/conference/11th_Con/kenkyu11.html</a>
第44回安全工学セミナー(東京都/オンライン)	8月24日～ 2023年1月27日 (水～金)	特定非営利活動法 人 安全工学会	03-6206-2840 (03-6206-2848) jsse-2004@nifty.com <a href="https://www.jsse.or.jp/multidatabases/multidatabase_contents/detail/1165/91aac9eb744225864d7f4e79fe842306?frame_id=991">https://www.jsse.or.jp/multidatabases/multidatabase_contents/detail/1165/91aac9eb744225864d7f4e79fe842306?frame_id=991</a>
2022年度第1回静電気学会講習会 「半導体デバイスの静電気対策(基礎編)」(オンライン)	8月25日(木)	静電気学会	03-3815-4171 (03-3868-3339) iesj@iesj.org <a href="http://www.iesj.org/academic/6.html">http://www.iesj.org/academic/6.html</a>

第180回講演会(オンライン)	8月31日(水)	プラスチック成形加工学会	03-5436-3822 (03-3779-9698) plakakou@sand.ocn.ne.jp <a href="https://www.jspp.or.jp">https://www.jspp.or.jp</a>
第24回日本感性工学会大会(オンライン)	8月31日～9月2日 (水～金)	日本感性工学会	03-3666-8000 (03-3666-8000) jske24@jske.org <a href="https://www.jske.org/taikai/jske24">https://www.jske.org/taikai/jske24</a>
第59回炭素材料夏季セミナー(京都府)	9月1～2日(木～金)	炭素材料学会 次世代の会	075-383-7049 (075-383-2488) myzkohei@elech.kuic.kyoto-u.ac.jp <a href="http://elech.kuic.kyoto-u.ac.jp/tanso-summer/index.html">http://elech.kuic.kyoto-u.ac.jp/tanso-summer/index.html</a>
「資源・素材2022(福岡)」 ー2022年度資源・素材関係学協会合同秋季大会ー (福岡県)	9月6～8日(火～木)	一般社団法人資源・素材学会	03-3402-0541 (03-3403-1776) info@mmij.or.jp <a href="https://confit.atlas.jp/guide/event/mmij2022b/top?lang=ja">https://confit.atlas.jp/guide/event/mmij2022b/top?lang=ja</a>
2022年度工学教育研究講演会(東京都)	9月7～9日(水～金)	日本工学教育協会, 関東工学教育協会	03-5442-1021 (03-5442-0241) 2022_jsee_conference@jsee.or.jp <a href="https://confit.atlas.jp/guide/event/jsee2022/top">https://confit.atlas.jp/guide/event/jsee2022/top</a>
2022年度日本冷凍空調学会年次大会(岡山県)	9月7～9日(水～金)	公益社団法人日本冷凍空調学会	03-5623-3223 (03-5623-3229) y.uda.pa@jsrae.or.jp <a href="https://www.jsrae-nenji.org/nenji2022/">https://www.jsrae-nenji.org/nenji2022/</a>
講演会「2050年カーボンニュートラルに向けた化学業界の取組み」(オンライン)	9月9日(金)	日本化学会関東支部	03-3292-6163 kanto@chemistry.or.jp <a href="https://kanto.csj.jp/event/2022/06021408332365/">https://kanto.csj.jp/event/2022/06021408332365/</a>
The 22nd International Vacuum Congress (IVC-22) (北海道)	9月11～16日 (日～金)	日本表面真空学会	03-3812-0266 (03-3812-2897) ivc22@jvss.jp <a href="https://ivc22.org/">https://ivc22.org/</a>
地盤技術フォーラム2022(東京都)	9月14～16日 (水～金)	産経新聞社	03-3273-6180 (03-3241-4999) info2022@sgrte.jp <a href="http://www.sgrte.jp/">http://www.sgrte.jp/</a>
第38回ファジィシステムシンポジウム(FSS2022) (東京都)	9月14～16日 (水～金)	日本知能情報ファジィ学会	0948-24-3355 (0948-24-3356) fss2022_committee@mlsv.kochi-tech.ac.jp <a href="http://fss.j-soft.org/2022/">http://fss.j-soft.org/2022/</a>
日本マイクログラビティ応用学会 第34回学術講演会(JASMAC-34)(愛媛県)	9月14～16日 (水～金)	日本マイクログラビティ応用学会	090-9810-1430 (04-2959-9143) office@jasma.info <a href="http://www.jasma.info/jasmac-34/">http://www.jasma.info/jasmac-34/</a>
スケジューリング・シンポジウム2022(東京都)	9月16～17日 (金～土)	スケジューリング学会	052-832-3295 office@scheduling.jp <a href="http://www.scheduling.jp/symposium/2022/">http://www.scheduling.jp/symposium/2022/</a>
第39回センシングフォーラム 計測部門大会(東京都)	9月21～22日 (水～木)	計測自動制御学会	03-3292-0314 (03-3292-0314) masahiro_fujiwara@ipc.i.u-tokyo.ac.jp <a href="https://www.sice.or.jp/s_forum/s_forum_sf39.html">https://www.sice.or.jp/s_forum/s_forum_sf39.html</a>
SPring-8シンポジウム2022(兵庫県)	9月25～26日 (日～月)	SPring-8ユーザー協団体(SPRUC), 高輝度光科学研究センター	0791-58-2785 (0791-58-2786) sp8sympo2022@spring8.or.jp <a href="http://www.spring8.or.jp/ja/science/meetings/2022/sp8sympo2022/">http://www.spring8.or.jp/ja/science/meetings/2022/sp8sympo2022/</a>

日本流体力学会年会2022(京都府)	9月27～29日 (火～木)	日本流体力学会	03-3714-0427 (03-3714-0434) info@nagare.or.jp <a href="https://www2.nagare.or.jp/nenkai2022/">https://www2.nagare.or.jp/nenkai2022/</a>
第11回反応性プラズマ国際会議/ 第75回気体エレクトロニクス会議(宮城県)	10月3～7日 (月～金)	第11回反応性プラズマ国際会議組織委員会	022-795-7116 icrp-11@grp.tohoku.ac.jp <a href="https://www.ecei.tohoku.ac.jp/plasma/ICRP-11/">https://www.ecei.tohoku.ac.jp/plasma/ICRP-11/</a>
第73回白石記念講座(東京都)	10月7日(金)	日本鉄鋼協会	03-3669-5933 (03-3669-5934) kuriyama@isij.or.jp <a href="https://isij.or.jp/event/event2022/shiraishi73.html">https://isij.or.jp/event/event2022/shiraishi73.html</a>
腐食防食部門委員会第344回例会(京都府)	10月11日(火)	日本材料学会	075-761-5321 (075-761-5325) jimu@office.jsms.jp <a href="https://www.jsms.jp/">https://www.jsms.jp/</a>
第8回材料WEEK(京都府)	10月11～14日 (火～金)	日本材料学会	075-761-5321 (075-761-5325) jimu@office.jsms.jp <a href="https://www.jsms.jp/">https://www.jsms.jp/</a>
第16回 日本電磁波エネルギー応用学会シンポジウムー 環境問題・エネルギー問題の解決のための最先端熱利用 技術(仮)ー(東京都/オンライン)	10月12～14日 (水～金)	日本電磁波エネルギー応用学会	03-3414-4554 (03-3414-4554) office@jemea.org <a href="https://www.jemea.org/?p=53823">https://www.jemea.org/?p=53823</a>
第70回レオロジー討論会(石川県)	10月13日～14日 (木～金)	日本レオロジー学会, 日本バイオレオロジー学会	075-315-8687 (075-315-8688) office@srj.or.jp <a href="http://www.srj.or.jp/gyoji">http://www.srj.or.jp/gyoji</a>
ALC'22 (14th International Symposium on Atomic Level Characterizations for New Materials and Devices'22) (沖縄県)	10月16～21日 (日～金)	日本表面真空学会	03-3812-0266 (03-3812-2897) alc@jvss.jp <a href="https://www.jvss.jp/division/mba/alc/alc22/">https://www.jvss.jp/division/mba/alc/alc22/</a>
ケミカル マテリアル Japan 2022 – ONLINE – (オンライン)	10月17～28日 (月～金)	(株)化学工業日報社	03-3663-7936 (03-3663-7861) cmj@chemicaldaily.co.jp <a href="https://www.chemmate.jp/exhibit_2022/">https://www.chemmate.jp/exhibit_2022/</a>
第41回電子材料シンポジウム(EMS-41)(奈良県)	10月19～21日 (水～金)	電子材料シンポジウム運営・実行委員会	03-5841-3840 (03-5841-3862) ems41-query@ems.jpn.org <a href="https://ems.jpn.org/">https://ems.jpn.org/</a>
第59回石炭科学会議(北海道)	10月20～21日 (木～金)	一般社団法人日本エネルギー学会	03-3834-6456 (03-3834-6458) sekitan59sanka@jie.or.jp <a href="https://www.jie.or.jp/publics/index/850/">https://www.jie.or.jp/publics/index/850/</a>
第43回日本熱物性シンポジウム(和歌山県)	10月25～27日 (火～木)	日本熱物性学会	086-251-8046 (086-251-8266) jstp@okayama-u.ac.jp <a href="http://jstp-symp.org/symp2022/">http://jstp-symp.org/symp2022/</a>
JST未来社会創造事業 本格研究所課題 「製品ライフサイクル管理とそれを支える革新的解体技術 開発による統合循環生産システムの構築」公開シンポジウム 物理分離技術とライフサイクル評価の革新ー循環型 社会実現のためにー(東京都)	10月28日(金)	JST未来社会創造事業 本格研究所課題グループ(研究代表 早稲田大学理工学術院 所千晴), 早稲田大学オープンイノベーション戦略研究機構	03-5286-3320 (03-5286-3491) n.yamauchi@kurenai.waseda.jp <a href="http://www.tokoro.env.waseda.ac.jp/">http://www.tokoro.env.waseda.ac.jp/</a>
8th International Conference for Ion Exchange (ICIE2022)(東京都)	11月4～7日 (金～月)	日本イオン交換学会	03-3238-3370 icie2022@jaie.gr.jp <a href="http://www.jaie.gr.jp/icie2022/index.html">http://www.jaie.gr.jp/icie2022/index.html</a>

第35回日本吸着学会研究発表会(長野県)	11月10～11日 (木～金)	日本吸着学会	03-6824-9370 (03-5227-8631) adsorption-post@bunken.co.jp <a href="https://www.j-ad.org/annual-meeting/">https://www.j-ad.org/annual-meeting/</a>
The 7th International Conference on the Characterization and Control of Interfaces for High Quality Advanced Materials (ICCCI2022)(山梨県)	11月15～18日 (火～金)	粉体工学会	045-339-3959 (045-339-3957) iccci2022@ynu.ac.jp <a href="http://ceramics.ynu.ac.jp/iccci2022/">http://ceramics.ynu.ac.jp/iccci2022/</a>
第38回ニューメンブレテクノロジーシンポジウム2022(オンライン)	11月21～25日 (月～金)	一般社団法人日本膜学会, 一般社団法人日本能率協会	03-3434-5512 (03-3434-5505) tech-con@jma.or.jp <a href="https://school.jma.or.jp/membrane/">https://school.jma.or.jp/membrane/</a>
第1回鉄鉱石塊成鉱に関する国際シンポジウム/ 英語名: The 1st International Symposium on Iron Ore Agglomerates(SynOre2022)(島根県)	11月22～25日 (火～金)	一般社団法人日本鉄鋼協会	03-6369-9995 (03-3453-1258) y-amano@issjp.com <a href="https://synore2022.com/">https://synore2022.com/</a>
第43回ドライプロセス国際シンポジウム(DPS2022)(大阪府)	11月24～25日 (木～金)	第43回ドライプロセス国際シンポジウム組織委員会	070-5268-6664 dps2022@officepolaris.co.jp <a href="http://www.dry-process.org/2022/">http://www.dry-process.org/2022/</a>
第30回秋季大会(京都府)	11月28～29日 (月～火)	プラスチック成形加工学会	03-5436-3822 (03-3779-9698) plakakou@sand.ocn.ne.jp <a href="https://www.jspp.or.jp/">https://www.jspp.or.jp/</a>
SCIS & ISIS2022(三重県)	11月29日～ 12月2日(火～金)	日本知能情報フレンジ学会	0948-24-3355 (0948-24-3356) scisis2022+info@gmail.com <a href="http://scis.j-soft.org/2022/">http://scis.j-soft.org/2022/</a>
第38回ゼオライト研究発表会(徳島県)	12月1～2日 (木～金)	一般社団法人日本ゼオライト学会	088-656-7429 (088-656-7429) kato@tokushima-u.ac.jp <a href="https://jza-online.org/events/">https://jza-online.org/events/</a>
メンテナンス・レジリエンス OSAKA 2022(大阪府)	12月7～9日 (水～金)	一般社団法人日本能率協会	03-3434-1988 (03-3434-8079) mente@jma.or.jp <a href="https://www.jma.or.jp/mente/osaka/">https://www.jma.or.jp/mente/osaka/</a>
国際粉体工業展東京2022(東京都/オンライン)	12月7～9日 (水～金) (オンライン会期: 11月21日～2023年 1月27日(月～金))	一般社団法人日本粉体工業技術協会	03-5297-8855 (03-5294-0909) info2022@powtex.com <a href="https://www.powtex.com/tokyo/">https://www.powtex.com/tokyo/</a>
第49回炭素材料学会年会(兵庫県)	12月7～9日 (水～金)	炭素材料学会	(03-5227-8632) tanso-desk@conf.bunken.co.jp <a href="http://www.tanso.org/contents/event/conf2022/index.html(予定)">http://www.tanso.org/contents/event/conf2022/index.html(予定)</a>
Grand Renewable Energy 2022 International Conference(オンライン)	12月13～20日 (火～火)	Grand RE2022 国際会議 組織委員会	090-7178-0029 (03-5294-0909) iked071@s7.dion.ne.jp <a href="https://www.grand-re2022.org">https://www.grand-re2022.org</a>
第36回数値流体力学シンポジウム(オンライン)	12月14～16日 (水～金)	一般社団法人日本流体力学学会	03-3714-0427 (03-3714-0434) cfd36@nagare.or.jp <a href="https://www2.nagare.or.jp/cfd/cfd36/">https://www2.nagare.or.jp/cfd/cfd36/</a>
第39回エネルギーシステム・経済・環境コンファレンス(東京都)	2023年1月 26～27日(木～金)	一般社団法人エネルギー・資源学会	06-6446-0537 (06-6446-0559) okabe@jser.gr.jp <a href="https://www.jser.gr.jp/">https://www.jser.gr.jp/</a>
第15回先進プラズマ科学と窒化物及びナノ材料への応用に関する国際シンポジウム/第16回プラズマナノ科学技術国際会議(ISPlasma2023/IC-PLANTS2023)(岐阜県)	2023年3月5～9日 (日～木)	公益社団法人応用物理学会	052-581-3241 (052-581-5585) isplasma2023@intergroup.co.jp <a href="http://www.isplasma.jp/">http://www.isplasma.jp/</a>

## 化学工学会第53回秋季大会 参加募集

会 場：オンサイト・オンライン併用開催  
 (オンサイト)信州大学 長野(工学)キャンパス  
 (〒380-8553 長野県長野市若里4-17-1)  
 (オンライン)化学工学会オンライン学会サイト GOING VIRTUAL

会 期：2022年9月14日(水)～9月16日(金)  
 (一部セッションは9月13日実施)

懇 親 会：実施しません。

参加登録期間：第一期 2022年7月1日(金)～8月3日(水)23:59  
 第二期 2022年8月4日(木)～8月17日(水)23:59  
 第三期(含む当日) 2022年8月19日(金)～9月16日(金)12:00

大会WebサイトURL：<http://www3.scej.org/meeting/53/>

※参加登録は上記Webサイトからのみ受け付けます。(大会会場での参加登録は行いませんのでご注意ください。)

※本記事記載の各事項は変更される可能性があります。最新情報は大会Webサイトにてご確認ください。

化学工学会第53回秋季大会は、2022年9月14日(水)～16日(金)の3日間、信州大学 長野(工学)キャンパスおよびオンラインにて開催されます。(オンサイト・オンライン併用開催の予定です。但し新型コロナウイルス感染症の状況等により会場変更あるいはオンライン開催に変更される可能性があります。)

本大会では、参加登録期間が3つあり、それぞれ参加費ならびに支払期限等が異なりますのでご注意ください。

奮ってご参加頂きますよう、よろしくお願ひ致します。

### 新型コロナウイルス感染症への対応について

本大会は、現下の情勢から、双方向ライブ配信を併用した「オンサイト・オンライン併用開催」で計画しております。但し、新型コロナウイルス感染症の今後の状況等により、会場変更や「完全オンライン開催」への変更、あるいは一部企画の中止・変更等が発生する可能性があります。なお、第53回秋季大会は、「化学工学会が主催するイベントに関するCOVID-19対応ガイドライン」および「化学工学会本部開催行事におけるCOVID-19感染拡大防止ガイドライン」に従います。最新情報は大会Webサイトをご確認ください。

### 参加登録方法

大会Webサイトからお申込みください。(大会会場での参加登録は行いませんのでご注意ください。)

参加登録期間は以下の3つです。

第一期	7月1日(金)～8月3日(水)23:59まで
第二期	8月4日(木)～8月17日(水)23:59まで
第三期(含む当日)	8月19日(金)～9月16日(金)12:00まで

### 注意事項

◇オンサイト会場(長野)ご来場予定の調査について

準備の都合上、参加登録時点における、オンサイト会場(長野)ご来場予定をお尋ね致します。見通しで結構ですので、ご協力をお願いし

ます。その後ご予定が変更になった場合もご連絡は不要です。

◇参加登録期間 第一期、第二期、第三期(含む当日)の違いと注意点

第一期では当日参加料金より大会参加費が2,000円お安くなります(会員外の方の大会参加費のみ更に3,000円お安くなります)。

第二期および第三期では当日参加料金と同額になります。

なお、第三期参加登録の場合は講演プログラム集冊子や講演要旨集(お申込み頂いた方のみ)のお届けが会期後となります。是非、第一期および第二期の事前参加登録をご利用ください。

第一期、第二期、第三期を跨いだお申込み、お支払はできませんので、ご注意ください。(例：第一期で大会参加のみ登録、第二期で講演要旨集を追加登録、はできません。また、第一期でお申込み頂いたものの、支払期限日までにお支払頂けなかった場合、そのお申込みはキャンセルとなります。第二期あるいは第三期に改めてお申込み、お支払いください。)

大会会場での参加登録は実施致しません。第三期の参加登録(オンラインのみ)は会期最終日12:00まで受け付けておりますので、そちらをご利用ください。

◇ご登壇者の参加登録について

ご登壇者(ご招待者を除く)も参加登録が必要です。会期1週間前までに参加登録を済ませますようお願い致します。なお、名誉会員および依頼講演者の皆様へは別途実行委員会よりご案内致しますので、そちらに従って手続きをお願い致します。

◇参加登録時の会員資格チェック(個人会員)について

個人会員の方は、参加登録に先立ち、本年度年会費の支払い状況を確認致します。当該Webページにアクセス頂くためには会員番号とパスワードが必要ですので、予めご準備ください。参加登録頂く時点で本年度年会費のお支払が確認できない場合は、個人会員資格でのお申込みはできません。年会費をお支払頂いてからWeb上で確認できるまで2週間程度かかりますので、未払いの方は早めにお支払ください。

会員資格ならびに年会費支払い状況に関するお問い合わせは、化学工学会本部(<https://www.scej.org/>)をお願い致します。

※本大会で登壇される方(名誉会員、招待者、共催学会の個人会員、対象海外学会の個人会員を除く)および参加(聴講のみを含む)す

る方で会員価格にて参加登録される方は、本会2022年度(2022年3月～2023年2月)年会費のお支払いが必要です。ご注意ください。

◇参加登録のキャンセル(返金)について

参加登録のキャンセルおよび参加登録費のご返金は、第一期、第二期いずれでのお申込みかによらず、第二期締切日(2022年8月17日(水)23:59)まで受け付けます。参加登録Webサイトにてお手続きください。

第二期締切日以降、また第三期参加登録は一切のキャンセルならびに返金はできません。予めご理解ください。

なお、参加者の連絡先等の参加者情報(参加者名と参加登録資格(会員種別等)を除く)の変更は、随時参加登録Webサイトより実施して頂きますが、参加者名と参加登録資格の変更はできませんので、その場合は一度キャンセルして頂き、改めてお申込み頂くことになります。この場合、改めて申し込まれた期の料金が適用されますので、ご注意ください。

◇講演要旨の事前公開について

第一期および第二期に事前参加登録を完了された方(参加費等支払済みの方)に、大会Webサイトにて講演要旨を事前公開致します。公開日に、講演要旨をご覧頂くためのID、PWを事前参加登録された際に登録頂いた電子メールアドレス宛にお送りします。第三期に参加登録された方へのお知らせは、大会直前となり、事前閲覧はできません。

本大会の講演要旨公開は、2022年8月31日(水)を予定しています。

◇講演プログラム集冊子について

講演プログラム集冊子は参加登録時にお申し込み頂ければ、無料で郵送致します(公開企画のみ参加者を除く)。第一期および第二期に事前参加登録を完了された方(参加費等支払済みの方)には、会期前にお届けする予定ですが、郵便事情により間に合わない可能性もあります。第三期に参加登録をされた方には、大会終了後の発送となります。なお、講演プログラム集冊子のPDF版を公開予定ですので、郵送を申し込まなかった方および未着の方はそちらをご利用ください。

◇講演要旨集について

講演要旨集はUSBメモリとして販売致します(大会参加者：3,300円/個)。大会参加費には含まれておりませんので、ご注意ください。参加

登録時にお申込み頂ければ、郵送致します。第一期および第二期に事前参加登録を完了された方には、会期前にお届けする予定ですが、郵便事情により間に合わない可能性もあります。第三期に参加登録をされた方には、大会終了後の発送となります。

なお、講演要旨集のディスクイメージファイルは、講演要旨集USBメモリの購入有無にかかわらず本大会に参加登録された方皆さん(公開企画のみ参加者を除く)、大会終了から3ヶ月後に

Webからダウンロード(無料)頂けます。

大会に参加登録されず講演要旨集のみご購入を希望される場合は、本会会員は12,100円/個(税込・送料込)、本会非会員は23,100円/個(税込・送料込)で販売しております。お申込みは随時大会Webより承りますが、現物の発送は大会終了後になります。

◇その他詳細について

大会Webサイトをご確認ください。

## 問合せ先

◇参加登録およびお支払方法に関するお問合せ  
京王観光(株)東京中央支店  
〒160-0022 東京都新宿区新宿2-3-10 新宿御苑ビル2階  
(担当者:土橋(どばし), イム, 國分(こくぶん))  
TEL: 03-5312-6540 FAX: 03-5379-0740  
E-mail: scej.kta-tyo@keio-kanko.co.jp  
営業時間 平日10時~17時

◇その他に関するお問合せ

化学工学会 第53回秋季大会 実行委員会  
E-mail: inquiry-53f@www3.scej.org

## 参加費

大会参加費には講演プログラム集冊子(希望者のみ;お届けします)が含まれていますが、講演要旨集(USBメモリ;別売)は含まれていません。ご注意ください。

### 大会参加費

会員資格	大会参加費			備考
	第一期 (7/1~8/3)	第二期 (8/4~8/17)	第三期 (8/19~当日)	
化学工学会個人会員の方				
正会員	10,000円	12,000円	12,000円	不課税
シニア会員	6,000円	8,000円	8,000円	
永年会員	5,000円	7,000円	7,000円	
教育会員	5,000円	7,000円	7,000円	
学生会員	5,000円	7,000円	7,000円	
ジュニア会員	5,000円	7,000円	7,000円	
海外正会員	10,000円	12,000円	12,000円	
海外連携会員	10,000円	12,000円	12,000円	
海外学生会員	5,000円	7,000円	7,000円	
化学工学会法人会員に属する方・部会に属する方等				
法人会員(*1)に属する社員	13,000円	15,000円	15,000円	不課税
懇話会会員	13,000円	15,000円	15,000円	
部会個人賛助会員	13,000円	15,000円	15,000円	
部会法人賛助会員に属する社員	13,000円	15,000円	15,000円	
(*1)維持会員, 特別会員, 特別地区会員				
他学会の個人会員の方等				
共催学会の個人会員	13,000円	15,000円	15,000円	課税税込
*2に記す海外学会の個人会員(学生を除く)	10,000円	12,000円	12,000円	
*2に記す海外学会の個人会員(学生)	5,000円	7,000円	7,000円	
(*2) AICHe: 米国化学工学会, CIESC: 中国化学工学会, DECHEMA: ドイツ化学工学バイオ学会, KICHe: 韓国化学工学会, TwICHe: 台湾化学工程學會(略称アルファベット順)				
上記以外の方				
会員外	25,000円	30,000円	30,000円	課税税込

### 講演要旨集(USBメモリ)

会員資格	参加登録時同時購入	大会終了後別途購入
本会会員 (個人/法人/部会個人・法人賛助会員)	3,300円/個(税込・送料込)	12,100円/個(税込・送料込)
本会非会員		23,100円/個(税込・送料込)

# 人材育成センター

## 「レイアウトとプロットプランの考え方」講座(第25回)

主催 化学工学会人材育成センター継続教育委員会

日時 2022年10月6日(木)～7日(金)

場所 化学工学会議室(東京メトロ丸ノ内線茗荷谷駅【東京駅より11分】下車徒歩1分)

新型コロナウイルス感染症(COVID-19)対策  
化学工学会議室で実施する場合には、マスクの着用と体温測定など、以下URLに記した新型コロナウイルス感染症対策を行い、開催致します。記載内容にご同意いただけない場合は、ご参加をお断りさせていただきます。[https://scej.kktcs.co.jp/jinzai/seminar/seminar\\_07\\_COVID19\\_2206.pdf](https://scej.kktcs.co.jp/jinzai/seminar/seminar_07_COVID19_2206.pdf)

対象 以下の何れかに該当される方

- ・レイアウトやプロットプランを考えなければならない人
- ・プロジェクトエンジニア、配管エンジニア、プラントエンジニア、プロセスエンジニアなどで5～7年の実務経験のある人(ある程度プラントに関する知識を持っている人)

講習目標 レイアウトの基礎概念、考え方とプロットプランの決め方などについて解説し、新規や既存プラントのレイアウトやプロットプランの根底にある考え方を学んでいただき、更に簡単な演習によって理解を深めていただきます。また、エンジニア会社とユーザーである化学メーカーとの考え方の相違点を理解していただきます。

受講のメリット

- (1)レイアウトとプロットプランの基本的考え方を学べます。
- (2)レイアウトとプロットプランを決める上で必要な法律・規格・基準の相互関係を理解できます。
- (3)レイアウトとプロットプラン作成上のノウハウを取得できます。
- (4)エンジニアリング会社と化学メーカーとの考え方を理解できます。
- (5)本講座では事前アンケートを実施し、受講者の経験や受講目的などを把握し、講義の参考と致します。
- (6)修了レポートにより、理解度を更に深められます。

講座内容

第1日：10月6日(木)9:55～17:00 木村氏  
諸連絡(9:55～10:00)  
レイアウト作成のための基礎知識(10:00～12:30 & 13:30～15:00)  
敷地条件、気象条件、ユーティリティ条件、工場設備、付帯設備、レイアウトに関する法律、レイアウトの評価  
レイアウト演習(15:00～17:00)

第2日：10月7日(金)9:30～16:30 浅野氏  
プロットプラン作成のための基礎知識(9:30～12:30)  
機器配置の基本形態、機器配置の基本思想、プロットプランの必要資料、プロットプラン計画時の考慮事項、水切りから据付まで、プロットプランに関する法的規制  
プロットプラン演習(13:30～16:30)

講師 経験豊富なエンジニア陣

木村 修氏(工業化技術・教育支援事務所代表、元宇部興産(株))  
浅野健治氏(浅野生産革新攪拌研究所主宰、元

日本ゼオン(株)、上席化学工学技士)  
受講証明書 出席基準を満たす受講者には、最終日に受講証明書を発行致します。

修了証 本講座では修了レポートを実施します。合格ラインに達した方には修了証を授与致します。(詳細は4号会告7ページ参照)

継続教育ポイント 受講証明書を授与した方には20ptを授与致します。また、修了証を授与された方には更に10ptを加算致します。(詳細は4号会告7ページ参照)

募集定員 12名(定員になり次第締切)

受付締切 9月28日(水)

受講料(消費税10%込)

個人正会員 44,000円(本体40,000円)  
維持会員/特別会員の社員 55,000円(本体50,000円)  
地区会員の社員 66,000円(本体60,000円)  
会員外 77,000円(本体70,000円)

申込方法 化学工学会ホームページ右上の“各種申込”の“講習会申込”と巡っていただくか、下記URLをブラウザに直接入力していただき、該当する講座を選択してお申込み下さい。

<https://service.kktcs.co.jp/smm2/c/scej/event/EventList.htm>

問い合わせ先

公益社団法人化学工学会 人材育成センター「継続教育」事務局  
〒112-0006 東京都文京区小日向4-6-19  
E-mail: [jinzai-seminar@att.scej.org](mailto:jinzai-seminar@att.scej.org)  
TEL: 03-3943-3527 FAX: 03-3943-3530

## 「プロセス設計」講座 プロセス基本制御とPFD作成 編 (オンライン版第5回)

主催 化学工学会人材育成センター継続教育委員会

日時 2022年10月14日(金)、18日(火)

対象 以下の何れかに該当される方

- ・流体の流れや機器情報と合わせてPFDとして具現化する手法を学びたい方
- ・化学・石油精製プラントなどに関連のある初級エンジニア(3～5年程度の経験者)
- ・「P&IDの作り方」講座 受講予定者
- ・「プロセス設計」講座 各編 修了者/受講予定者
- ・「プラント計装制御-1」講座 修了者/受講予定者

講習目標

本講座では、中味流体を取り扱うという視点からプロセス制御を構築していき、更に流体の流れや機器情報と合わせてPFDとして具現化していく手法を学んでいただきます。

受講のメリット

- (1)化工物性、蒸留計算編、塔・槽、熱交換器の設計編、ハイドロリックの設計編と共に本編を受講することで、プロセス設計の真髄を習得できます。
- (2)「P&IDの作り方」講座を受講する前の事前学習として有効です。
- (3)本講座では事前アンケート及びオリエンテーション(10月7日)を実施し、受講者の経験や受講目的などを把握し、講義の参考と致します。
- (4)修了レポートにより、理解度を更に深められます。

講座内容

本講座は、Microsoft Teamsを利用したオンラインで、初日は約8時間(90分に1回15分程度休憩+昼休み60分)、2日目は約3.5時間(60分程度に1回休憩)のペースで開催致します。

オンライン開催になりますが、一方通行にならないような工夫を凝らして講義してゆく予定です。

なお、以下URLに記した注意事項にご同意いただけない場合は、ご参加をお断りさせていただきます。[https://scej.kktcs.co.jp/jinzai/seminar/seminar\\_SCEJ\\_jinzai\\_ONLINE.pdf](https://scej.kktcs.co.jp/jinzai/seminar/seminar_SCEJ_jinzai_ONLINE.pdf)

オリエンテーション：10月7日(金)11:00～30分程度(最大でも12:00)

接続負荷のチェックを兼ねて実施します。講義当日と同じパソコン・通信環境(カメラ付PC必須)で参加下さい。

第1日：10月14日(金)9:15～17:00

時間(目安)	内容
9:15～10:45	12章
10:45～11:00	<休憩>
11:00～12:30	12章及び13章
12:30～13:30	<昼休み>
13:30～15:00	13章
15:00～15:15	<休憩>
15:15～17:00	14章[PFD例題] 14章[PFD作成手順説明] 14章[PFD作成演習]

第2日：10月18日(火)13:15～16:40

時間(目安)	内容
13:15～14:00	14章[PFD作成演習] (前日の続き)
14:00～14:20	<休憩[演習提出]>
14:20～15:10	14章[PFD作成演習解説]
15:10～15:20	<休憩>
15:20～16:40	15章

※時間配分はおおよその目安です。当日の進行状況によっては若干の変動もごございます。

※実習の際には、シャープペンと消しゴムと白紙のA3用紙1枚をご用意下さい。

※[PFD作成実習]での作成物は、1日目の休憩時間中にscan等をして事務局にメールで提出していただきます。

プログラム

12. 蒸留塔周りの制御
13. 各種設備の制御の基本(蒸留塔以外)
14. PFD作成実習
15. 計装・制御についての補足事項

講師 経験豊富なエンジニア

永野健一郎氏(日揮グローバル(株)PSCエンジニアリング本部 プロセスエンジニアリング部、上席化学工学技士、技術士)

受講証明書 出席基準を満たす受講者には、最終日に受講証明書を発行致します。

修了証 本講座では修了レポートを実施します。合格ラインに達した方には修了証を授与致します。(詳細は4号会告7ページ参照)

継続教育ポイント 受講証明書を授与した方には20ptを授与致します。また、修了証を授与された方には更に10ptを加算致します。(詳細は4号会告7ページ参照)

募集定員 15名(定員になり次第締切)

受付締切 10月7日(金)9:00

受講料(消費税10%込)

個人正会員<技士基礎制*>	16,500円(本体15,000円)
個人正会員	33,000円(本体30,000円)
維持会員/特別会員の社員	41,250円(本体37,500円)
地区会員の社員	49,500円(本体45,000円)
会員外	57,750円(本体52,500円)

\*技士基礎割は、以下の条件を満たす方が対象となります。

1. 化学工学技士(基礎)資格に関する手続きを完了していること。
2. 正会員であること。(事前に自らの会員情報を確認、更新して下さい)
3. 卒業または修了後5年以内の社会人であること。

**申込方法** 化学工学会ホームページ右上の“各種申込”の“講習会申込”と巡っていただくか、下記URLをブラウザに直接入力していただき、該当する講座を選択してお申込み下さい。

<https://service.kkctcs.co.jp/smms2/c/scej/event/EventList.htm>

**問い合わせ先**

公益社団法人化学工学会 人材育成センター「継続教育」事務局  
〒112-0006 東京都文京区小日向4-6-19  
E-mail : jinzai-seminar“アットマーク”scej.org  
TEL : 03-3943-3527 FAX : 03-3943-3530

「プラント計装制御-1」講座  
(改訂第2回)

**主催** 化学工学会人材育成センター継続教育委員会

**日時** 2022年11月9日(水)~11日(金)

**場所** 化学工学会会議室(東京メトロ丸の内線茗荷谷駅【東京駅より11分】下車徒歩1分)  
横河電機(株)デモルーム/トレーニングセンター(JR三鷹駅(東京駅から中央線特別快速30分、快速37分)下車徒歩7分)  
〒180-8750 武蔵野市中町2-9-32  
<http://www.yokogawa.co.jp/cp/corporate/operation/map/cp-info-map-ja.htm>

**新型コロナウイルス感染症(COVID-19)対策** 化学工学会会議室で実施する場合には、マスクの着用と体温測定など、以下URLに記した新型コロナウイルス感染症対策を行い、開催致します。記載内容にご同意いただけない場合は、ご参加をお断りさせていただきます。[https://scej.kkctcs.co.jp/jinzai/seminar/seminar\\_07\\_COVID19\\_2206.pdf](https://scej.kkctcs.co.jp/jinzai/seminar/seminar_07_COVID19_2206.pdf)

**対象** 以下の何れかに該当される方

- ・プロセス技術者(2~5年程度の経験者)
- ・計装制御技術者(2~3年程度の経験者)
- ・「プロセス設計」講座各編 修了者/受講予定者

**講習目標** 若手プロセスエンジニアおよび計装制御エンジニアが、プロセスプラントのプロセス改造、新設時に知っておくべき、プロセスプラントで求められるプラント計装・制御の基礎を学んでいただきます。また、今後プロセスプラントの中堅エンジニアとして活躍するために必要なプラント計装・制御の基礎技術を再整理していただきます。

**受講のメリット**

- (1)プラント制御・計装の基本を理解できます。
- (2)計装設計の基本、制御方式選定の基礎を習得できます。
- (3)横河電機殿のご協力により、デモルームにてDCSによる制御動作と現場機器の動作の関連

性を、トレーニングセンターにてDCSを使った制御操作実習を体験できます。

- (4)講義と実習により、DCSと安全計装への理解が深まります。
- (5)適切な制御ループ構成を組むことができるようになります。
- (6)最新のプラント情報システムについて学べます。
- (7)本講座では事前アンケートを実施し、受講者の経験や受講目的などを把握し、講義の参考と致します。
- (8)修了レポートにより、理解度を更に深められます。

**講座内容**

第1日:11月9日(水)9:55~17:30 於:化学工学会会議室  
諸連絡(9:55~10:00)

1. プラント計装制御概論(10:00~10:55;赤城氏)
  2. DCSの機能と設計(11:05~12:30;赤城氏)
  3. プロセス計測操作端(13:30~15:55;武用氏)計装システムの構成、流量、液面計測器、温度・圧力計測器、分析計、調節弁
  4. 安全計装(16:05~17:30;竹内氏)
- 第2日:11月10日(木)9:00~16:00 於:横河電機デモルーム/トレーニングセンター
5. デモルームでのDCSの操作の概要とDCSによる制御動作と現場機器の動作の関連性(9:00~10:20;秦氏)
  6. トレーニングセンターでのCENTUMを使った制御操作実習(10:40~16:00;横山氏)
    - (1)バッチ制御
    - (2)連続制御
    - (3)比率制御
    - (4)定量仕込制御
    - (5)プログラム制御
    - (6)PID制御

第3日:11月11日(金)9:30~16:30 於:化学工学会会議室

7. 標準的なプロセス制御ループ事例(9:30~12:00;小瀧氏)
8. プラントワイド制御ループ構成の考え方(13:00~15:25;矢野氏)
9. プラント情報システム(15:35~17:00;平井氏)

**講師** 経験豊富なエンジニア

赤城範方氏(日揮グローバル(株)PSC エンジニアリング本部 電気計装システム部)  
武用吉史氏(日揮グローバル(株)PSC エンジニアリング本部 電気計装システム部)  
竹内陽祐氏(日揮グローバル(株)PSC エンジニアリング本部 電気計装システム部)  
秦 彰宏氏(横河ソリューションサービス(株)海外・プラント本部 技術部 1Gr)  
横山 敬氏(横河ソリューションサービス(株)トレーニングセンター)  
小瀧喜明氏(日揮グローバル(株)PSC エンジニアリング本部 プロセスエンジニアリング部)  
矢野尚貴氏((株)七呂建設(元日揮グローバル(株)), 化学工学技士)  
平井隆詞氏(日揮グローバル(株)PSC エンジニアリング本部 ITマネジメント部)

**受講証明書** 出席基準を満たす受講者には、最終日に受講証明書を発行致します。

**修了証** 本講座では修了レポートを実施します。合格ラインに達した方には修了証を授与致します。(詳細は4号会告7ページ参照)

**継続教育ポイント** 受講証明書を授与した方には30ptを授与致します。また、修了証を授与された方には更に15ptを加算致します。(詳細は4号会告7ページ参照)

**募集定員** 12名(定員になり次第締切)

**受付締切** 11月1日(火)

**受講料(消費税10%込)**

個人正会員<技士基礎割\*>

	49,500円(本体45,000円)
個人正会員	71,500円(本体65,000円)
維持会員/特別会員の社員	88,000円(本体80,000円)
地区会員の社員	104,500円(本体95,000円)
会員外	121,000円(本体110,000円)

\*技士基礎割は、以下の条件を満たす方が対象となります。

1. 化学工学技士(基礎)資格に関する手続きを完了していること。
2. 正会員であること。(事前に自らの会員情報を確認、更新して下さい)
3. 卒業または修了後5年以内の社会人であること。

**申込方法** 化学工学会ホームページ右上の“各種申込”の“講習会申込”と巡っていただくか、下記URLをブラウザに直接入力していただき、該当する講座を選択してお申込み下さい。

<https://service.kkctcs.co.jp/smms2/c/scej/event/EventList.htm>

**問い合わせ先**

公益社団法人化学工学会 人材育成センター「継続教育」事務局  
〒112-0006 東京都文京区小日向4-6-19  
E-mail : jinzai-seminar“アットマーク”scej.org  
TEL : 03-3943-3527 FAX : 03-3943-3530

「P&IDの作り方」講座(第27回)

**主催** 化学工学会人材育成センター継続教育委員会

**日時** 2022年11月16日(水)~18日(金)

**場所** 化学工学会会議室(東京メトロ丸の内線茗荷谷駅【東京駅より11分】下車徒歩1分)

**新型コロナウイルス感染症(COVID-19)対策** 化学工学会会議室で実施する場合には、マスクの着用と体温測定など、以下URLに記した新型コロナウイルス感染症対策を行い、開催致します。記載内容にご同意いただけない場合は、ご参加をお断りさせていただきます。[https://scej.kkctcs.co.jp/jinzai/seminar/seminar\\_07\\_COVID19\\_2206.pdf](https://scej.kkctcs.co.jp/jinzai/seminar/seminar_07_COVID19_2206.pdf)

**対象** 以下の何れかに該当される方

- ・P&IDを読む、あるいは作成する必要がある人
- ・プロセス設計技術者、プロジェクトエンジニアなど(3~5年程度の実務経験者)
- ・「プロセス設計」講座各編 修了者
- ・「プラント計装制御-1」講座 修了者

**講習目標** P&IDを取り扱う初心者を対象に、P&IDに使用される機器、配管、計装関連の記号とその意味、配管関係、計装関係、機器周りのP&IDとその作成方法等を、部分から全体へ、事例と実習を活用しながら学習していただきます。更に、実際のプラントの実例に則してP&IDの作成実習を行います。

**受講のメリット**

- (1)複雑に見えるP&IDに何が書いてあるか分かるようになります。
- (2)P&IDに書かれていることの意味を理解できるようになります。
- (3)PFDからP&IDを書く演習を通して、自分でP&IDを描くことができます。
- (4)P&ID作成のノウハウを習得できます。
- (5)本講座では事前アンケートを実施し、受講者の経験や受講目的などを把握し、講義の参考と致します。
- (6)修了レポートにより、理解度を更に深められます。

**講座内容**

第1日:11月16日(水)9:55~17:00

(9:55～10:00) 諸連絡

(10:00～13:00) 三枝氏

1. P&ID とは
2. P&ID の読み方
3. 配管関係の P&ID 表示  
(14:00～17:00) 小山氏
4. 計装関連の P&ID 表示
5. 機器まわりの P&ID 表示

第2日：11月17日(木)

6. P&ID 作成実習 (9:30～17:30) 能村氏, 比護氏  
蒸留塔を例にとり, PFD から P&ID を作成する演習  
扱う物質が固結性物質とスラリー流体の場合の P&ID 作成演習

第3日：11月18日(金)

7. P&ID 作成実習解説 (9:30～12:30) 浅田氏
8. 運転と P&ID (13:30～16:30) 日比野氏  
※ P&ID 作成実習を行いますので, シャープペンと消しゴムをご用意下さい。

**講師** 千代田化工建設(株), 東洋エンジニアリング(株), 日揮(株)の経験豊富なエンジニア  
三枝 悠氏(千代田化工建設(株)インテグリティマネジメント部 P&ID 設計セクション)  
小山武志氏(日揮グローバル(株)PSC エンジニアリング本部 プロセスエンジニアリング部 グループリーダー)

能村 隆氏(テックプロジェクトサービス(株)設計統括本部 プロセス設計部)  
比護正志氏(東洋エンジニアリング(株)エンジニアリング・技術統括本部 次世代技術開拓部)  
浅田茂豊氏(千代田化工建設(株)インテグリティマネジメント部 P&ID 設計セクション)  
日比野毅氏(日揮グローバル(株)スタートアップ&オペレーションサービス部)

**受講証明書** 出席基準を満たす受講者には, 最終日に受講証明書を発行致します。

**修了証** 本講座では修了レポートを実施します。合格ラインに達した方には修了証を授与致します。(詳細は4号会告7ページ参照)

**継続教育ポイント** 受講証明書を授与した方には30 pt を授与致します。また, 修了証を授与された方には更に15 pt を加算致します。(詳細は4号会告7ページ参照)

**募集定員** 12名(定員になり次第締切)

**受付締切** 11月8日(火)

**受講料(消費税10%込)**

個人正会員 66,000円(本体60,000円)  
維持会員/特別会員の社員 82,500円(本体75,000円)  
地区会員の社員 99,000円(本体90,000円)  
会員外 115,500円(本体105,000円)

**申込方法** 化学工学会ホームページ右上の“各種申込”の“講習会申込”と巡っていただくか, 下記 URL をブラウザに直接入力していただき, 該当する講座を選択してお申込み下さい。

<https://service.kktcs.co.jp/smms2/c/scej/event/EventList.htm>

**問い合わせ先**

公益社団法人化学工学会 人材育成センター  
「継続教育」事務局  
〒112-0006 東京都文京区小日向4-6-19  
E-mail : jinzai-seminar“アットマーク”scej.org  
TEL : 03-3943-3527 FAX : 03-3943-3530

## 「モデリング技術の基礎と実践」 講座(改定第16回)

**主催** 化学工学会人材育成センター継続教育委員会

**日時** 2022年11月24日(木)～25日(金)

**場所** 化学工学会会議室(東京メトロ丸ノ内線茗荷谷駅【東京駅より11分】下車徒歩1分)

**新型コロナウイルス感染症(COVID-19)対策**  
化学工学会会議室で実施する場合には, マスクの着用と体温測定など, 以下 URL に記した新型コロナウイルス感染症対策を行い, 開催致します。記載内容にご同意いただけない場合は, ご参加をお断りさせていただきます。[https://scej.kktcs.co.jp/jinzai/seminar/seminar\\_07\\_COVID19\\_2206.pdf](https://scej.kktcs.co.jp/jinzai/seminar/seminar_07_COVID19_2206.pdf)

**対象** 以下の何れかに該当される方

- ・反応や各種単位操作に関連した現象のモデリング技術を学んで実践に活かしたい方
- ・企業経験3年程度以上の技術系の方

**講習目標** プロセス設計, プラント運転にはプロセスシミュレータが広範囲に利用されています。シミュレータをより効果的に活用するには, 基礎工学原理の理解が不可欠です。応用数学とモデリングの基礎を, 手計算, Excel, 方程式解法ソフトを用いながら学び, 実験データからモデルをどう作るかについて, 微分方程式・代数方程式の立て方と解き方を中心にした演習を行い, 化学プロセスで取り扱う現象のモデリングについて実践的な基礎を学ぶ機会を提供します。

**受講のメリット**

- (1) プロセスシミュレーションモデリング技術に関する知識とアプローチの理解が深まり, 実践に活かすことができます。
- (2) プロセスデータ・実験データを見た時に, 関連したモデルを作成し, それを用いて考察する習慣をつけるための第一歩となります。
- (3) 本講座では事前アンケートを実施し, 受講者の経験や受講目的などを把握し, 講義の参考と致します。

**講座内容**

第1日：11月24日(木)9:55～17:30

諸連絡(9:55～10:00)

1. 立式と解法の基本(EQUATRAN 導入教育含む)

第2日：11月25日(金)9:30～17:00

2. 反応操作
3. 気液平衡
4. (参考)プラントデータの解析
5. まとめ

※テキスト改定により, 若干内容が変わる可能性があります。お申込の際にホームページをご確認下さい。

※関数電卓は各自ご持参下さい。

※演習用 PC は当会でご準備致します。

<用いるソフトウェア>方程式解法ソフト(EQUATRAN-G for Windows)を開発・販売元である(株)オメガシミュレーション社のご好意により利用できます。

《ソフトウェアに関する受講者の知識》

- 1) Excel : ソルバー機能を使った経験  
※ソルバー機能を使った経験が少ない方は, 「化学工学」2004年7月号 pp.382-386 を自習されることをご推奨します。
- 2) 方程式解法ソフト : 不要(冒頭2時間強で, 化学工学例題を用いて操作方法を説明します)

**講師** 熊谷善夫氏((株)PreFEED, 博士(工学))  
及び, 横山克己氏((株)PreFEED, 博士(工学))  
**受講証明書** 出席基準を満たす受講者には, 最終日に受講証明書を発行致します。

**継続教育ポイント** 受講証明書を授与した方には20 pt を授与致します。(詳細は4号会告7ページ参照)

**募集定員** 10名(定員になり次第締切)6名に達しない場合は, 開催中止となることがございます。

**受付締切** 11月16日(水)

**受講料(消費税10%込)**

個人正会員 49,500円(本体45,000円)  
維持会員/特別会員の社員 60,500円(本体55,000円)  
地区会員の社員 71,500円(本体65,000円)  
会員外 82,500円(本体75,000円)

**申込方法** 化学工学会ホームページ右上の“各種申込”の“講習会申込”と巡っていただくか, 下記 URL をブラウザに直接入力していただき, 該当する講座を選択してお申込み下さい。

<https://service.kktcs.co.jp/smms2/c/scej/event/EventList.htm>

**問い合わせ先**

公益社団法人化学工学会 人材育成センター  
「継続教育」事務局  
〒112-0006 東京都文京区小日向4-6-19  
E-mail : jinzai-seminar“アットマーク”scej.org  
TEL : 03-3943-3527 FAX : 03-3943-3530

## 部 会 C T

### 超臨界流体部会 第21回 サマースクール 「エネルギー・環境問題に挑戦する 超臨界流体・CO<sub>2</sub>分離貯留技術」

主催 化学工学会 超臨界流体部会

日時 2022年9月5日(月)13:00～16:40

開催方法 対面及びZOOMによるハイブリッド開催

会場 オンライン：東北大学東京分室会議室  
(東京都千代田区丸の内1-7-12 サビアタワー10F)

オンライン：ZOOM

\*但し新型コロナウイルス感染症の状況等によってはオンライン開催のみに変更される可能性があります。

#### プログラム

13:00～13:05 部会長挨拶

13:05～13:50 「超臨界地熱資源開発における技術的課題」

秋田大学 長縄成実氏

13:50～14:35 「物理化学的視点から地下深部への超臨界CO<sub>2</sub>圧入を考える」

地球環境産業技術研究機構 薛 自求氏

14:35～15:20 「CO<sub>2</sub>分離回収技術の材料とプロセスからの省エネ化検討」

名古屋大学 町田 洋氏

15:20～15:30 休憩

15:30～16:30 学生交流会

16:30～16:40 閉会の挨拶

**学生交流会**：皆さんと同じように日々研究に取り組む学生さんが、各地の研究室にたくさんいます。この交流会を通じて「超臨界仲間」を見つけてみませんか。

・当日は自己紹介、研究テーマ、研究のアピールポイントの入ったPPTを用意してください(1枚程度。後日、書式アップロード先をご案内します)。

・3～5分程度で紹介してください(人数に応じて時間を調整します)。

・会場参加でもオンライン参加でもOKです。

・オーディエンス参加も可能です(学生以外の方の聴講も歓迎)。

申込締切 2022年8月22日(月)

参加費 部会員2,000円、協賛会員3,000円、非部会員5,000円、学生無料

支払方法 郵便振込(申込みいただいた後、担当者より口座情報をお知らせいたします)

申込方法 下記の必要事項をご記入の上、申込先までお申し込み下さい。

1) 御氏名、2) 御所属・部署名・役職、3) 連絡先(E-mail、TEL、FAX)、4) 連絡先ご住所、5) 会員資格(部会員、非部会員、学生)、6) 参加方法(オンライン、オンライン)

申込先 超臨界流体部会エネルギー分科会

E-mail: [scfenergy@grp.tohoku.ac.jp](mailto:scfenergy@grp.tohoku.ac.jp)

ZOOM接続方法 別途、担当者より案内いたします。

問合せ先 超臨界流体部会エネルギー分科会

〒432-8561 静岡県浜松市中区城山3-5-1

静岡大学工学部化学バイオ工学科 岡島いづみ

E-mail: [okajima.izumi@shizuoka.ac.jp](mailto:okajima.izumi@shizuoka.ac.jp)

## 地 域 C T



### 東 北 支 部

#### 第30回東北支部若手の会セミナー ものづくりに向けた現象理解と 観察技術－

主催 化学工学会東北支部

共催 岩手化学工学懇話会、宮城化学工学懇話会

協賛 青森化学工学懇話会、秋田化学工学懇話会、山形化学工学懇話会、福島化学工学懇話会

日時 2022年9月20日(火)

会場 見学会：世嬉の一酒蔵(株)

岩手県一関市田村町5-42

TEL：0191-21-1144(代)

<https://sekinoichi.co.jp/>

講演会：一関工業高等専門学校(ハイブリッド)

岩手県一関市萩荘字高梨

TEL：0191-24-4700(代)

FAX：0191-24-2146

#### プログラム

9月20日(火)

見学会

13:00～15:00 世嬉の一酒蔵(株)

講演会(講演40分、質疑5分)

15:30～16:15 講演(1)「ソノプロセス設計の基盤となるキャピテーションと音響流に対する現象解明」

東北大学大学院工学研究科 山本卓也氏

16:15～17:00 講演(2)「光で測るナノフルイドの動的濡れ－ナノ液膜と粒子パターン形成の相關－」

東北大学大学院工学研究科 庄司衛太氏  
9月21日(水)

続いて2日目は第27回東北ジョイント夏季セミナーが開催されますので、ご興味がありましたら是非ご参加ください。但し、ご参加の場合は別途参加費が必要です。

申込締切 9月2日(金)

#### 参加費

見学会 会員1,000円、学生無料、非会員2,000円

講演会 会員無料、学生無料、非会員1,000円

備考 第27回東北ジョイント夏季セミナーへもご参加される場合、会員+5,000円、学生+2,000円、非会員+12,000円が別途必要になります。

申込方法 参加者のお名前、所属、連絡先(E-mail、TEL等)、会員区分、セミナー出欠を記入の上、FAX、またはE-mailにて下記連絡先までお申し込み下さい。

連絡先 仙台市青葉区荒巻字青葉6-6-07

東北大学工学部化学・バイオ工学科内

化学工学会東北支部事務局

E-mail: [scej-tohoku@che.tohoku.ac.jp](mailto:scej-tohoku@che.tohoku.ac.jp)

TEL&FAX: 022-712-0887

#### 第27回東北ジョイント 夏季セミナー

主催 化学工学会東北支部

共催 岩手化学工学懇話会、宮城化学工学懇話会

協賛 青森化学工学懇話会、秋田化学工学懇話会、山形化学工学懇話会、福島化学工学懇話会、日本伝熱学会東北支部、東北伝熱懇話会、日本エネルギー学会東北支部

日時 2022年9月20日(火)～21日(水)

会場 見学会：世嬉の一酒蔵(株)

岩手県一関市田村町5-42

TEL：0191-21-1144(代)

<https://sekinoichi.co.jp/>

講演会：一関工業高等専門学校(ハイブリッド)

岩手県一関市萩荘字高梨

TEL：0191-24-4700(代)

FAX：0191-24-2146

#### プログラム(講演40分、質疑5分)

第1日目(若手の会セミナー)

15:30～16:15 講演(1)「ソノプロセス設計の基盤となるキャピテーションと音響流に対する現象解明」

東北大学大学院工学研究科 山本卓也氏

16:15～17:00 講演(2)「光で測るナノフルイドの動的濡れ－ナノ液膜と粒子パターン形成の相關－」

東北大学大学院工学研究科 庄司衛太氏

第2日目

9:00～9:05 支部長挨拶

9:05～9:50 講演(3)「化学工学を駆使した二酸化炭素の回収と利用プロセスの研究開発」

名古屋大学工学部マテリアル工学科 則永行庸氏

9:50～10:35 講演(4)「分子の侵入によるリン脂質二分子膜への影響」

山形大学大学院理工学研究科 吉田一也氏

10:35～10:50 休憩

10:50～11:35 講演(5)「バイオマスの炭素化によるバイオ炭と水素の同時製造の可能性」

福島大学共生システム理工学類 浅田隆志氏

11:35～13:30 昼休み

(12:00～13:00 支部役員会)

13:30～14:15 講演(6)「結晶性多糖バイオマスの酵素分解能を向上させる微生物の戦略－ブースタータンパク質、LPMO10のはたらき－」

一関工業高等専門学校未来創造工学科  
中川裕子氏  
14:15～15:00 講演(7)「マイクロ波利用化学プロセスの開発と応用展開」  
産業技術総合研究所化学プロセス研究部門  
西岡将輝氏

15:00～16:00 意見交換会  
16:00 解散

申込締切 9月2日(金)

参加費

講演会 会員 5,000円, 学生 2,000円, 非会員 12,000円

(同時開催の第30回若手の会セミナー講演会にもご参加いただけます(非会員は+1,000円)。なお、若手の会セミナー見学会には会員+1,000円, 学生無料, 非会員+2,000円にて参加いただけます。)

申込方法 参加者のお名前, 所属, 連絡先(E-mail, TEL等), 会員区分, セミナー出欠を記入の上, FAX, またはE-mailにて下記連絡先までお申し込み下さい。

連絡先 仙台市青葉区荒巻字青葉6-6-07

東北大学工学部化学・バイオ工学科内

化学工学会東北支部事務局

E-mail : [scej-tohoku@che.tohoku.ac.jp](mailto:scej-tohoku@che.tohoku.ac.jp)

TEL&FAX : 022-712-0887

時間割 全日共通

09:30～9:40 開会の挨拶・概要説明(第1日目のみ)

1限 09:40～11:10 講義基礎①-じっくり基礎事項を学ぶ

(大学側講師)

2限 11:20～12:50 講義基礎②-同上

(大学側講師)

昼食

3限 13:50～15:20 演習-基礎に基づく実践演習

(企業側講師)

4a限 15:30～16:30 講義応用-応用・発展的な事項を解説

(大学側講師)

4b限 16:30～17:00 演習解説-演習の解説, 実践事例

(企業側講師)

17:00～17:15 閉会式(最終日のみ)

プログラム

第1日目 9/5(月)「化学工学の基礎」

1限 単位と次元, 収支論の基礎

2限 移動速度論の基礎

4a限 相似則と無次元数

(東京農工大学)桜井 誠氏

3, 4b限 演習及び解説

(千代田化工建設(株))東村 達氏

第2日目 9/6(火)「流体工学の基礎」

1限 運動量移動, レイノルズ数

2限 円管内流動, エネルギー収支, 配管内の圧力損失, 計測

4a限 境界層の考え方, 乱流

(東京工業大学)吉川史郎氏

3, 4b限 演習及び解説

(広栄化学工業(株))佐藤秀樹氏

第3日目 9/12(月)「反応工学の基礎」

1限 化学反応と反応速度

2限 均一反応装置の特徴, 解析と設計

4a限 気-固反応系, 触媒反応

(東京工業大学)大友順一郎氏

3, 4b限 演習及び解説

(三菱ケミカル(株))加納 誠氏

第4日目 9/13(火)「熱工学の基礎」

1限 熱移動過程, 抵抗の分離, 総括移動抵抗

2限 対流伝熱(主に円管内)

4a限 放射伝熱, 熱交換操作

(東京工業大学)森 伸介氏

3, 4b限 演習及び解説

(三井化学(株))遠藤淳史氏

第5日目 9/26(月)「分離工学I-平衡分離」

1限 平衡の概念

2限 蒸留と収支

4a限 抽出

(日本大学)栗原清文氏

3, 4b限 演習及び解説

(元月島環境エンジニアリング(株))

小島照博氏

第6日目 9/27(火)「分離工学II-分離操作」

1限 移動過程, 抵抗分離, 総括抵抗

2限 吸収, 膜分離

4a限 種々の膜分離プロセス, 反応吸収

(工学院大学)赤松憲樹氏

3, 4b限 演習及び解説

((財)金属系材料研究開発センター)

松尾充高氏

修了証 精勤者全員に授与します。

優秀賞 演習の成績優秀上位者を表彰します。

持参品 教科書, 筆記用具, 関数電卓をご持参ください。

募集人員 30名(定員になり次第締め切ります)

参加費 化学工学会・協賛学会正会員:6日間参加40,000円, 単日参加12,000円/日

化学工学会・協賛学会法人会員の社員:6日間

参加60,000円, 単日参加18,000円/日

会員外:6日間参加80,000円, 単日参加

24,000円/日(1社3名以上でのお申し込み時, 1名につき6日間参加

10,000円引き, 単日参加3,000円引き)

学生会員:6日間参加20,000円, 単日参加5,000円/日

※6日間参加の場合, 一部の日程を代理出席

されても結構です。

※それぞれの参加費には教科書1冊・資料代・消費税を含みます。

支払方法 受付後, 参加証と共に送付する振替用紙にて事前にお振り込みください。

当日会場での現金支払いも可能ですが, 当日になってのキャンセルの場合も参加費のご請求をさせていただきます。

申込方法

・Web申込み

関東支部HP(<http://www.scej-kt.org/>)の次回行事開催のご案内の「第26回基礎化学工学講習会」をクリック後「参加申込みフォーム」をクリックするとフォームのウィンドウが開きますので, 必要事項を記入の上, ご送信ください。

・Fax, E-mailによる申込み

下記関東支部事務局宛, チラシの申込書又は申込書相当の必要事項ご記入の上お送りください。

申込先 〒112-0006 東京都文京区小日向4-6-19 共立会館内

公益社団法人 化学工学会 関東支部

TEL : 03-3943-3527 FAX : 03-3943-3530

E-mail : [info@scej-kt.org](mailto:info@scej-kt.org)

HP : <http://www.scej-kt.org>

## 関 東 支 部

### 第26回基礎化学工学講習会

主催 公益社団法人 化学工学会関東支部

協賛 公益社団法人 日本化学会, 一般社団法人 日本エネルギー学会

企業で既に活躍されている技術者の方々, あるいは化学系企業に入社されたばかりの方々の化学工学の基礎知識の向上・考え方の構築を図るため, 産業界の強い要請に応え「第26回基礎化学工学講習会」を昨年に引き続き以下のように開催致します。本講習会では「基礎的な考え方」と「演習」に重点を置き, 大学・工専・高専で学ばれた知識を発展, 整理して頂く機会になるよう, 更に改善を進めております。研究開発・設計・製造現場など, 化学工学の考え方を必要とする若手技術者, 知識のリフレッシュをしたいと考えている方々を対象とします。

大学と企業から選ばれた講師が, 自ら精選したとれた教科書を基に, 実務的な視点を加味し, 講義と演習を組み合わせ, 理論と実践とを丁寧に解説致します。「化学工学の基礎」, 「流体工学」, 「反応工学」, 「熱工学」, 「平衡分離」, 「分離操作」をテーマに, 合計6日間の講習を致します。精勤者には, 本講習会にて使用した教科書の演習問題の「解答集(非売品)」を贈呈致します。特に人事をご担当の部署におられる方々におかれましては, 今後とも毎年継続的に実施して参りますので, 是非人材育成の一環としてお考え頂ければ幸いに存じます。

日時 2022年9月5・6日(月・火), 12・13日(月・火), 26・27日(月・火)9:30～17:00

場所 東京理科大学 森戸記念館 第1会議室

〒162-0825 東京都新宿区神楽坂4-2-2

TEL : 03-5225-1033

地図 : <https://www.ite.or.jp/winter/2016/access.pdf>

最寄駅 JR線「飯田橋」駅西口 徒歩6分

### 化学工学会新潟大会 講演および参加募集

主催 化学工学会関東支部

共催 新潟地方化学工学懇話会

日時 2022年11月9日(水)～10日(木)

会場 朱鷺メッセ新潟コンベンションセンター

新潟県新潟市中央区万代島6-1,

<https://www.tokimesse.com/>

講演申込期間 7月25日(月)～9月2日(金)

講演要旨原稿提出期間 9月5日(月)～9月30日(金)

事前参加登録期間 9月19日(月)～10月14日(金)

シンポジウム

1. 「炭素フリー燃料社会～水素・アンモニアの製造・輸送・利用の拡大に向けて～」  
(オーガナイザー:新潟大学 清水忠明, 産業技術総合研究所 高木英行)

世界的に脱炭素の潮流が進む中, 利用時に二酸化炭素を出さない水素・アンモニアに注目が集まっている。しかし, 水素・アンモニアは製造にエネルギーを必要とし, 高効率製造プロセスが必要である。また, 輸送, 受け入れにもこれまでとは異なったインフラが必要であり, 更に, 利用技術についても従来の化石燃料系エネルギー源とは異なった燃料電池などの体系が必要とされる。このシンポジウムでは, 主に水素・アンモニアに関連する技術を議論すると共に, 併せてこれらを出発原料とする合成燃料・原料や, 炭素ニュートラル資源であるバイオマス等の有効活用をも含めた幅広い視点からの議論を行う。

2. 「現象理解に基づく晶析操作設計」  
(オーガナイザー:新潟大学 三上貴司, 東京大学 伊與木健太)

豊倉賢早稲田大教授が提唱した研究哲学「C-PMT」の冒頭が「P (phenomena)」であるように、日本の晶析工学者・技術者は、装置内で起こる特有の晶析現象を思考の軸に、結晶づくりを考えてきた。現象が分かると操作が分かるのであり、晶析工学の適用対象が多様化している今とこれからも、現象理解を大切にしている日本の伝統的晶析工学の心を持ち続けていきたいものである。このシンポジウムでは、晶析現象に関わる研究課題を幅広く募集し、「操作」・「現象」・「品質」のつながりの部分に重点を置いた議論を行う。

新潟大会問合せ先メールアドレス  
inquiry-kt2022@www3.scej.org

## 中国四国支部

### 第25回化学工学基礎講習会 (初習者対象)

主催 山口地区化学工学懇話会  
共催 山口大学化学プロセス強化研究教育推進体

日時 2022年8月31日(水)、9月1日(木)、2日(金)9:30～16:30  
会場 常盤工業会館(宇部市)

プログラム(予定)  
順序は変わる可能性があります。

8/31  
・化学工学基礎の基礎  
・流動・流体操作

9/1  
・熱移動・熱移動操作  
・蒸留

9/2  
・反応速度・反応操作  
・粉体工学

参加費 25,000円(会員)／47,000円(非会員)  
詳細はホームページをご覧ください。(7月上旬掲載予定)  
新型コロナウイルス感染拡大の状況により中止・延期となる可能性がございます。

## 九州支部

### 第33回化学工学に関する国際シンポジウム (ISChE2022)

共催 化学工学会、化学工学会九州支部、韓国化学工学会

第33回化学工学に関する国際シンポジウム (International Symposium on Chemical Engineering (ISChE) 2022) を来たる2022年12月2日から4日に開催いたします。本シンポジウムは、アジアの学生交流を主目的としてこれまでで開催していません。日本ではISChE2016の宮崎での開催以来

です。多数の皆様からのご参加・お申込をお待ちしております。

\*新型コロナウイルス感染症の状況によって、内容が変更される場合があります。最新版は九州支部URL (<http://www3.scej.org/kyushu/>) でご確認ください。

日時 2022年12月2日(金)～4日(日)  
場所 福岡県中小企業振興センター(福岡市博多区吉塚本町9-15)  
(交通)JR鹿兒島本線吉塚駅(東口)より徒歩約1分

参加費 正会員 20,000円、学生会員 15,000円  
発表形式 口頭発表のみ(全て英語で行う)  
申込締切 2022年8月31日(水)(Abstract)  
申込方法 以下の内容を含んだ英文ファイルとA4、1ページのアブストラクトを研究室毎にお纏めの上、下記申込先までメールで申し込んでください。  
(1) Title of paper  
(2) Authors (発表者に下線)  
(3) Affiliation (Department, University, City, Postal code)  
(4) Selection of session code (下記のセッションの記号を記入してください。)  
(5) One-page abstract (Formatは下記申込先にご請求ください。)  
(6) 研究室の連絡責任者氏名、身分、電話番号、E-mail  
セッション名 A: Biotechnology, B: Energy & Environment, C: Organic materials, D: Inorganic materials, E: Reaction & Reactor, F: Separation, G: Miscellaneous, H: Special Session

予稿用の論文(Proceedings)の締切は、10月31日です。論文原稿の体裁は過去の大会と同じです。今回初めて参加される方はご連絡ください。詳細は後日メールで連絡いたします。

申込先 〒860-0082 熊本市西区池田4-22-1  
崇城大学工学部ナノサイエンス学科 草壁克己  
TEL: 096-326-3614 FAX: 096-323-1347  
E-mail: kusakabe@nano.sojo-u.ac.jp

感染予防のお願い  
1) 風邪のような症状がある場合もしくは37.5℃以上の発熱がある場合は参加を自粛してください。  
2) 参加者はマスクを着用し、咳エチケットを心がけてください。  
3) 新型コロナウイルス感染症を発症したもしくは疑いのある方と濃厚接触された方の参加はお断りすることがございます。

#### 一般講演

口頭発表とし、発表時間は11分、質疑・応答・交代4分です。発表時のPCは各自持参ください。

#### 学生賞

学生賞・口頭発表セッションを開催し、学生会員による優れた発表に対して表彰します。本大会ではポスター発表は行わず、全て口頭発表とします。発表時間は8分、質疑・応答・交代7分です。

※申し込み件数が多数の場合には、一次審査により一般講演へ変更頂く場合があります。

#### 特別講演

日時 11月10日(木)  
題目「酒を描く日本の古典文学～室町・江戸の物語を通じた日本酒研究～(仮)」  
講師 畑 有紀氏  
新潟大学 日本酒学センター 特任助教

#### The Researcher 招待講演

日時 11月10日(木)  
題目「実験と計算を活用した水電解用電極触媒の効率設計(仮)」  
講師 菅原勇貴氏  
東京工業大学 科学技術創成研究院 化学生命科学研究所 助教  
2012年 第20回 横浜大会 学生賞 金賞受賞

#### 講演申込方法

新潟大会ホームページ内の「講演申込ページ」に希望分類番号、講演題目、発表者氏名、所属略称、会員種別、会員番号、講演概要(100字程度)、分類番号、申込者氏名・所属・郵便番号・住所、電話番号、FAX番号、電子メールアドレスなど指定された必要事項を記入してください。

#### 講演要旨原稿

提出方法は年会・秋季大会に準じますが、詳細は新潟大会ホームページで確認ください。

#### 新潟大会ホームページURL

<http://www3.scej.org/meeting/kt2022/>

## 求人

### ☆九州大学大学院工学研究院化学工学部門 教員募集☆

募集人員: 助教(常勤)1名  
専門分野: 化学工学、材料化学、高分子化学に関する分野  
応募資格: 博士の学位を有し(採用時まで取得見込者を含む)、研究と教育に熱意のある方  
応募締切: 2022年10月31日(月)必着  
問合せ先: 〒819-0395 福岡市西区元岡744  
九州大学 大学院工学研究院 化学工学部門 三浦佳子  
TEL: 092-802-2749 FAX: 092-802-2769  
E-mail: miuray@chem-eng.kyushu-u.ac.jp